

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➢ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➢ 会員寄稿記事	3
➢ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	6
➢ 会議・イベント案内 & 書籍等の紹介	7

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

ARRN (アジア河川・流域再生ネットワーク) 『第 11 回 ARRN 運営会議』 及び 『第 13 回 ARRN 河川・流域再生に関わる国際フォーラム (8月24日@韓国)』 開催速報

アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の理事会に当たる『第 11 回 ARRN 運営会議』、及びメンバー間の技術交流を目的とした『第 13 回 ARRN 河川・流域再生に関わる国際フォーラム』が、第 12 回水理情報学国際会議(HIC2016)の分科会として韓国・仁川市にて8月24日に開催され、JRRN から3名が出席しました。ARRN も 2006 年 11 月の設立から 11 年目となる活

動に突入し、日本・中国・韓国・台湾の既ネットワークに加え、今後はイラン、インド、モンゴル、マレーシア、ベトナムなどの河川再生ネットワーク設立に向けた調整を進めていく予定です。

国際フォーラム講演資料は後日に JRRN ホームページに掲載するとともに、韓国での活動の詳細は JRRN ニュースレター10月号にてご紹介させていただきます。

(JRRN 事務局・和田彰)



JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト『第3回「小さな自然再生」現地研修会 in 福岡県福津市・上西郷川 (7月29日)』開催報告

夏真っただ中の7月29日(金)、第3回(今年度初回)となる「小さな自然再生」現地研修会を福岡県福津市の福間南郷づくり交流センター及び上西郷川にて開催致しました。当日は晴天に恵まれ、事例集の表紙を飾る「小さな自然再生」の代表地、上西郷川にて、約40名の参加者が一緒になって汗を流しました。



上西郷川現地研修会参加者

(1) 座学研修(午前)

■ 小さな自然再生のすすめ

(三橋弘宗：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)

小さな自然再生の基本的な考え方(定義、進め方、波及効果など)が、事例を踏まえ紹介されました。身近な川に触れること、川づくりに対する認識のハードルを下げること、“出来ることはたくさんある”ということが基本認識として共有されました。

■ 上西郷川の市民主体の川づくりと小さな自然再生

(林博徳：上西郷川日本一の郷川をめざす会/九州大学)

大きな自然再生(多自然川づくり)から小さな自然再生まで、徹底的な市民参加で進められてきた上西郷川の川づくりが紹介されました。10年間で80回に及ぶワークショップを重ねて取り組まれてきた川づくりは、上西郷川の自然だけでなく、人と川のつながりを取り戻し、人と人との信頼関係もつながっています。



座学研修の様子

(2) 上西郷川の現場研修(午後)

現地研修会としては初めての試みとなる、参加者による施工体験を実施しました。水の流れを多様にし、様々な種類の生き物の生息場を創出するため、12名の地元の子供たちを含む参加者が川に入り、どの場所に間伐材水制を設置すれば良いかを考え、慣れない工具・材料による現場作業に奮闘しました。



現地研修の工具・材料

「小さな自然再生」の名のとおり、間伐材水制は30分程度の作業時間で完成できるものでしたが、翌日には河床の変化が見られるようになり、既設設置箇所では確認されている魚類の種数が倍増しているようです。参加者の誰もが、“出来ることはたくさんある”と認識できる体験となりました。



現地研修の様子

今回の現地研修会にあたり、全面的にご協力いただいた「上西郷川日本一の郷川をめざす会」の皆様には感謝を申し上げます。また河川を管理する福津市の皆様には、会場の手配を含め準備のご協力をいただき、九州大学大学院流域システム工学研究室の皆様には、現場施工の工具・材料の提供、当日の運営サポートをいただいたお陰で、有意義な研修会となりました。研修会の詳細については、後日開催報告書を公開致します。

なお、本活動は(公財)河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

(JRRN 事務局・後藤勝洋)

9月



あの日のあの川 リレー日記 ～第20話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第20話主人公 菊地康佑

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：茨城県久慈川)

「苗箱」

いつのこと？： 小学校時代

どこの川？： 久慈川

僕は泳げない。友人の大半が楽しみにしていた小中学校のプールの授業もあまり好きではなく、憂鬱だった。高校に進学する際に一番重要視していたのは学校にプールがあるかないかだ。プールがない高校に受かるために必死に勉強した。そんな僕も決して「水辺」自体が嫌いなわけじゃない。川も池も海もむしろ好きだ。とりわけ好きなのは用水路。祖父母の家の田んぼのそばを流れる名前もない小さな用水路は僕の小学生時代の思い出がみっちり詰まっている。

毎年5月の連休には母方の祖父母の家に泊まりに行く。自分が住んでいる所からそこまで30分弱、月に一回程度は訪れていたが、新緑のこの季節の訪問は楽しみの度合いが違う。久慈川の水が用水路を通って、渴いていた田んぼに流れ込んでいく。そう、5月は田植えの季節だ。僕は田植えの手伝いに毎年駆り出されていた。

小学生の僕に手伝ったことは多くない。田んぼ端っこに植えさせてもらったり、田植え機の隣に乗せてもらっていたりしていた。これらは正直手伝いとは言えない。むしろ足を引っ張っていた。僕の仕事と言えば、主に、携帯電話を持たずに田んぼに出ていく祖父と家でご飯を作っている祖母の連絡係として自転車を走らせることだった。ただ、もう一つ自信をもって手伝いをしていたと言えることがあった。それは苗箱洗いだ。祖父が苗を植え、空になった苗箱を父が僕のもとに持ってくる。田んぼのすぐそば、二本目の電柱とトタンの小屋の間を流れる用水路ここが僕の「いつも」の洗い場だ。深さは2, 30センチメートル程度あり、他の場所より幾分か深く水も多い。流れはそんなに速くない。絶好の苗箱洗いポイントだ。水路に苗箱を浸し、手元にあるたわしで大きな泥を落とす。次は、二つのブラシが平行してセットされた専用の洗い機に苗箱を押し込み十数回上下させ洗う。この時点でほとんどの場合はキレイになるが、それでも取れない泥はたわしを使う。この手順を繰り返して1日に100枚以上は洗う。

この時期に照り付ける日差しはもう真夏とかと思うくらい暑い。加えて、単純作業の重労働である。大学生となった今、手伝いをしろと言われたら、正直やりたくない。なんなら、アルバイトがあるだのなんだの理由をつけて回避したいくらいだ。しかし、こんな重労働でも小学生の自分には本当に楽しみで、待ち遠しいものだった。暑さの中にある水の冷たさ、涼しさに魅了されていたのかもしれない。家に帰ればクーラーの利いた涼しい部屋が待っている。それも好きだ。しかし、「暑い暑い」と言いながらも自然の水から涼をとる。この感覚は言葉では何とも言い表し難い素晴らしさがあった。単なる涼しさだけではない。大げさかもしれないが、幼いながらに肌で自然を感じているんだという気がした。足だけ水の中に浸かって洗う。苗箱を激しく上下させてわざと水しぶきをあげ、それを浴びながら洗う。様々な工夫を凝らし暑さを逃がそうとしていた。それが純粋に楽しかった

水だけでない、田植えが楽しみだった理由のもうひとつは大人になれた気がしたからだ。「たかが苗箱洗いといえど侮るなかれ、たかが苗箱洗いといえど侮るなかれ、来年もおいしいお米を作るためには重要な仕事なんだ」と祖父は教えてくれた。そして一枚でも多く洗えば洗うほど、よりきれいにすればするほど祖父は喜ぶ。喜んでいる祖父を見ると、なんだか認められた気がしてうれしかった。

今年の五月、就職活動の合間を縫って祖父母の家に帰った。祖父は七年前に亡くなり、祖母はもう高齢で農業はしていない。田んぼはもう自分たちのものではない。それでも、次の人に引き継がれ昔と同じような光景が広がっている。僕は「いつも」の場所に足を浸けてみた。日差しの暑さも、水の冷たさも、匂いも、景色も何も変わっていない。この水に触れるとあごろの思い出を鮮明に思い出す。泳げない僕がいつまでも大好きな「水辺」だ。

(次は日比野愛さんにバトンを託します)

水辺からのメッセージ No.88

岡村幸二 (JRRN 会員)

水の町屋：

400年の歴史をもつ山形五堰 石積水路の歴史を引き継ぐ



撮影：2016年8月（山形県山形市・御殿堰）

◆地域用水機能として

山形五堰はもともと農業用水や生活用水や防火用水、さらには地下水涵養として重要な役割を担ってきましたが、近年身近な水とふれあい、地域らしい景観を保全する機能としても重視され、これを総称して“地域用水機能”と呼んでいます。

◆民間が仕掛けて公共空間整備

七日町御殿堰が生まれて6年がたち、当時植栽したヤナギは大きく成長しました。この場所は「水の町屋」と呼ばれる観光スポットになっています。現在、この先の水路再生工事も進んでいます。

 JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2016年8月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 24 回リバーフロント研究所研究発表会 (9/16)

(公財) リバーフロント研究所

より研究発表会のご案内です。

■ 日時 : 2016年9月16日(金)
13:00~17:30

■ 場所 : 国立オリンピック記念青
少年総合センター

■ 参加費 : 無料

■ 定員 : 120名(先着順)

◆ 詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2507.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 4 回大人の社会科見学「江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり〜シビルエンジニアから聞く川にまつわる話」

(株) 建設技術研究所より、第 9 回 EDO ART EXPO との共催行事(クルーズ体験)のご案内です。

■ 開催日 : 9/27, 30, 10/1, 4, 6

■ 場所 : 日本橋船着場他

■ 参加費 : 無料

■ 申込期限 : 9月12日(月)

◆ 詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2512.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 高麗川&越辺川魚釣りイベント (9月4日&18日開催)

NPO 法人荒川流域ネットワークより、9/4(日)・高麗川魚釣りイベントと9/18(日)・越辺川魚釣りイベントのご案内です。

● 高麗川イベント開催内容

【開催日時】2016年9月4日(日) 9:30~13:00

【集合場所】高麗川鹿台橋下流(日高市)

● 越辺川イベント開催内容

【開催日時】2016年9月18日(日) 9:30~13:00

【集合場所】越辺川石今橋左岸(埼玉県鳩山町)

◆ 詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2485.html>



【海外からの提供情報】

■ 「RRC (英国河川再生センター) 最新ニュースレター」ご紹介

RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (2016年7月号) が事務局より届きました。

本号では、RRC 年次講演会で実施されたアンケート調査「今後 3~5 年で河川再生が直面する最大の課題は何か?」の結果、7 月に実施された現地視察行事の報告、アメリカにおける河川再生事例に関する二つの話題、また英国や欧州で今後開催される予定の河川再生に関わるイベント情報等が紹介されています。

◆ 詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2481.html>

なお、過去の RRC ニュースレターのバックナンバーは以下より閲覧かうです。

<http://www.therrc.co.uk/bulletins>



(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

※前頁でご案内した行事は本欄では掲載していません。

■自由集会『小さな自然再生が中小河川を救う！V』

- 日時：2016年9月2日(金) 9:00-11:00
- 主催：「小さな自然再生」研究会の有志メンバー
- 場所：東京大学本郷キャンパス 一条ホール
- <http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2410.html>

■第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏

- 日時：2016年9月3日(土)～4日(日)
- 主催：第16回川に学ぶ体験活動全国大会実行委員会
- 場所：摂南大学 寝屋川キャンパス (大阪府寝屋川市)
- <http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2351.html>

■第9回いい川・いい川づくりワークショップ

- 日時：2016年9月10日(土)～11日(日)
- 主催：いい川・いい川づくり実行委員会
- 場所：高梁市文化交流館 (岡山県高梁市)
- <http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2370.html>

■琵琶湖外来魚駆除大会

- 日時：2016年9月11日(日) 10:00～15:00
- 主催：琵琶湖を戻す会
- 場所：滋賀県草津市津田江1-北 湖岸緑地(滋賀県草津市)
- <http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2414.html>

■シンポジウム「ダム貯水池の水環境に関する現状と将来～」

- 日時：2016年10月14日(金) 13:10～17:30
- 主催：応用生態工学会 広島 他
- 場所：広島YMCA本館 国際文化ホール (広島県広島市)
- <http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2422.html>

■皆様からのイベント情報提供をお待ちしています！

全国で河川再生に関わる様々な行事が開催されています。ローカル情報のPRや共有を目的に、皆様からの情報提供をお待ちしております。

(海外の河川・流域再生に関する主なイベント)

- 2016.9.12-14(ニューデリー/インド) 19th International Riversymposium
- 2016.9.19-22(Stuttgart/ドイツ) 13th Int. Sympo. on River Sedimentation
- 2016.9.20-23(Krakow/ポーランド) Int. Conference 2016; Towards the Best Practice of River Restoration and Maintenance
- 2016.10.8-13(ブリスベン/オーストラリア) World Water Congress & Exhibition
- 2016.11.24-26(Allahabad/インド) 1st International RIVER SUMMIT (IRS-2016)
- 2017.8.13-18(Kuala Lumpur/マレーシア) 37th IAHR World Congress (IAHR 2017)

書籍等の紹介

Publications

■ できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 (2015.3 発刊)

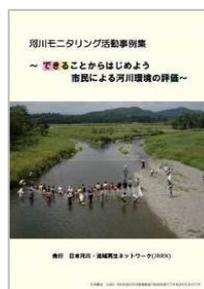
- ・監修：玉井信行 東京大学名誉教授 / JRRN 顧問
- ・編集：「小さな自然再生」事例集編集委員会
- ・デザイン：本間由佳 鶴川女子短期大学
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ・出版年月：2015年3月



市民が河川管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集です。小さな自然再生の専門家の方々、専門知識の社会への橋渡しの専門家、そして有志の若手研究者や実務者で協働制作しました。

■ 河川モニタリング活動事例集～できることからはじめよう 市民による河川環境の評価～ (2014.3 発刊)

- ・監修：白川直樹 筑波大学准教授 (JRRN 理事)
- ・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関
- ・編集：JRRN 事務局、筑波大学白川(直) 研究室
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ・出版年月：2014年3月



市民が主体的に取り組む河川環境のモニタリング事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

■両冊子のPDF版はこちらから：

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

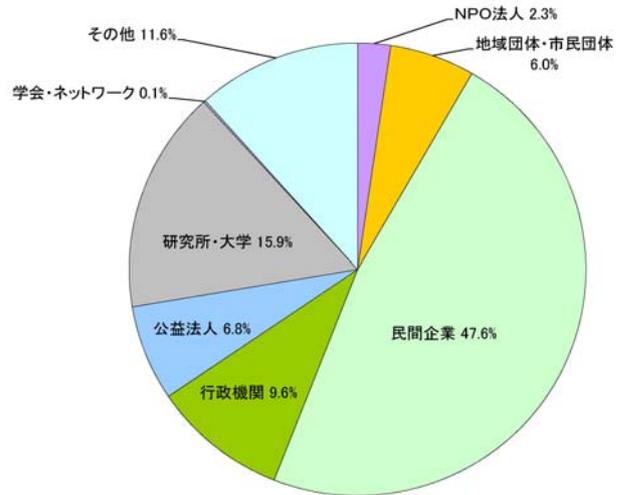
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2016年8月31日時点の個人会員の所属構成

(個人会員数：744名、団体会員数：60団体)

※8月の新規入会数：個人会員1、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 (公財)リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

